

まちの話題topics



6月19日、屋子母の県道沿いに「月下美人」が開花しました。原産地はメキシコで、サボテン科の一種、花の大きさは20センチ程度。開花時期は、6～10月で、夜にしか開花しないそうです。花言葉は、「はかない美、儂い恋、繊細、快樂、艶やかな美人」。

この花、見たことありますか？



6月13日(旧暦5月16日)、大山神社で「大山神社例祭」がありました。関係団体が出席し、山の恵みに感謝した上で、町民の安全や無病息災を祈願しました。祭主一拝、祝詞奏上、玉串奉てんなどの神事が執り行われた後は、琉球舞踊やフラダンスなどが披露されました。

町民の安全・無病息災を祈願



6月27日、フローラル館において、「南三町老連ゆめ・ときめき交流研修会」があり、来賓祝辞後は、南三町の代表者が事例発表を行いました。また、大蔵英世医師による講演「私の健康法(100歳めざして)」があり、出席者は興味深そうに聞き入っていました。

老連ゆめ・ときめき交流会



6月17日、中央公民館において、奄美群島広域事務組合主催の「特産品加工品商品開発・販売力向上人材育成セミナー」がありました。講師は、食のデザイナー代表の西原昌男氏。地域資源の潜在的付加価値を活かした商品開発のための様々なノウハウを話されました。

商品の原価を知ることが最重要



6月8日、あしびの郷・ちなにおいて、鹿児島県商工会連合会主催の「平成26年度中小企業大学講座」がありました。奄美大島地区の商工業者の自己研鑽が主な目的で、会場には、200名以上の出席者が集いました。

県連会長、大島支庁長などのあいさつ後は、「平成の女きみまろ」や「名古屋の上沼

大島地区商工会一同が集結



恵美子」と呼ばれるユーモアセラピストの米津さち子氏が「笑顔コミュニケーションで笑売繁盛」と題して基調講演がありましたが、ユーモアたっぷりの話術で、会場を大爆笑の渦に巻き込みました。この他、女性部のミニバレー大会や青年部の主張大会があり、会は大盛況のうちに終了しました。